

地域医療連携だより

2019.6
第45号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



病院長就任のご挨拶

病院長 阪上 雅史



1994年に本学に奉職して以来24年間、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授として若手医師を育成するとともに、患者さんのQOLを考えた耳科手術を5,000例以上行って来ました。2012年より医療安全管理部長（副院長）を5年間、新病院建設・経営企画担当副院長を2年間務め病院運営に携わってきました。これらの経験を活かして、安全で質の高い医療を提供する大学病院を目指して全力を尽くす所存です。

本院は963床、入院患者数1日840名、外来1日2,160名、年間手術数約1万1,100件の診療を行う特定機能病院です。41の診療科と29の中央施設（がんセンター、放射線医療センターなど）が高度な先進医療を提供しています。急性医療総合センターには手術センター、救命救急センターなど急性期医療を集約し、災害拠点病院としての機能を充実させております。2013年10月の週刊ダイヤモンド「頼れる病院ランキング」では兵庫県1位・全国11位となり、以後トップクラスの大学病院の地位を保っております。

兵庫医科大学病院は開設以来47年間に4,200名を超える医師を育成し、看護師・薬剤師・技師などの医療人の育成にも力を注いで来ました。2018年には「THE世界大学ランキング日本版2018」の教育リソース分野で私立医科大学1位・全国大学7位と、トップクラスの医科大学の地位を確立しています。単なる知識や技術の習得だけでなく、「自分の親だったらどう治療するか考えなさい」と若者に教えています。

紹介していただいた患者さんご家族のQOL（満足度）を高めるために、多職種連携のチーム医療で外来受診から入院・退院までフォローできる体制を構築しています。

これから病院長として全病院職員のフロントに立ち、目標達成に向けて日々努力勉強して行く所存ですので、地域の医師の方々のご理解とご支援をお願い申し上げます。

直腸がんに対するロボット支援下手術開始しております。

下部消化管外科 教授／病棟医長 池田 正孝



昨年4月に胃がん・直腸がん・食道がん・肺がん等を対象に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いたロボット支援下内視鏡手術が保険適応となりました。当院でも昨年12月より最新式の「ダヴィンチ Xi」を用いたロボット支援下手術を開始しております。これまで当院では直腸がんに対して腹腔鏡手術を積極的に行ってきました。腹腔鏡手術に比べ、ロボット支援下手術は、視野がぶれず、多関節機能を生かした骨盤深部での鉗子操作が非常に容易かつ確実な点が大きく異なります。特に、男性や肛門のすぐ近くや大きな直腸がんなどに有用です。また、肛門側より直腸と直腸間膜を切除する taTME (transanal Total Mesorectal Excision: 経肛門的直腸間膜全切除) という術式も行っています。この術式は、肛門側から腹腔鏡と同じ器具を用いて切除することで、腫瘍から十分な距離をとって切除できるという利点があります。直腸がん手術はいかに確実に周囲を切除するかにかかっています。われわれは、最新式の機器・術式を駆使して確実に安全な手術に取り組んでおります。直腸がんの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介いただけますと幸いです。

がんセンター長就任のご挨拶

がんセンター センター長 木島 貴志



4月1日付けで、がんセンター長を拝命致しました。いまや日本国民の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで亡くなる時代と言われています。平成時代初期は、抗がん剤治療と聞くと、長期入院を強いられ副作用もとても辛いというイメージでした。しかし、最近では、副作用の少ない抗がん剤や副作用対策のための補助薬もたくさん開発され、外来化学療法室で日常生活を損なうことなく明るく治療ができる時代になっています。また、いくつかのがん原因遺伝子が発見され、それが作り出す異常な物質を特異的に阻害する分子標的薬も開発されてきました。さらに、がん免疫療法は今年のノーベル医学生理学賞の受賞対象となったことでも記憶に新しいところですが、新しいがん治療法として、その中心になりつつあります。

令和時代は、いよいよ、がん遺伝子パネルを活用したゲノム医療、すなわち遺伝子検査の結果に基づいて最適な薬剤を患者さんに届けるプレジジョンメディシンの時代に突入します。当院は地域がん診療連携拠点病院としての使命を全うすべく、最先端のがん診療を実践するとともに、がん相談支援センターを通じた患者さんへのサポートも充実させることで、より良いがん診療を提供していきたいと思っております。その実践のために、皆さまと今後より良好な連携体制を築かせていただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

放射線治療部長就任のご挨拶

放射線治療部 部長 富士原 将之



2019年4月1日付で放射線治療部長を拝命致しました富士原将之と申します。

1998年3月に兵庫医科大学を卒業後、兵庫医科大学放射線科において放射線治療を中心に診療に携わってまいりました。2014年には近隣の明和がんセンタークリニックの設立にかかわる機会をいただき、2016年より兵庫医科大学に戻り診療を行っております。

ご存知の通り、放射線治療は近年急速に進歩し、超高齢化社会となった我が国のがん治療において、根治治療から緩和治療まで重要な役割を担っております。現在では装置の進歩により体幹部定位放射線治療

(SBRT) や強度変調放射線治療 (IMRT) といった高精度放射線治療が提供できるようになりました。当部では本年4月より新規放射線治療装置 (Versa HD™) が稼働し、引き続き現在稼働中の装置 (ELEKTA Synergy) のバージョンアップを予定しており、まもなくしますと SBRT や IMRT だけでなく呼吸同期照射などの新たな機能が追加された外部放射線治療装置2台で治療を提供できる環境が整います。これらと既存の小線源治療装置を用い、地域のがん診療のお役に立てるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い致します。



Versa HD™

医療支援センター副センター長就任のご挨拶

医療支援センター 副センター長 波多野 悦朗

この度、医療支援センター 副センター長を拝命致しました。3年前に兵庫医科大学病院に着任して以来、地域の病院やクリニックをまわり地域医療に関して多くの先生のご意見を頂戴してまいりました。今後も、周囲の医療機関からみて兵庫医科大学病院に期待している点、改善してほしい点をご指摘いただければ幸いです。地域の先生方と face-to-face で接することにより、病診・病病連携を強化し、患者さんに喜んでいただける医療の提供に努めてまいります。今後共、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療支援センター着任のご挨拶

医療支援センター 看護師長 峯 瀬 美千代

4月1日付で医療支援センターに着任致しました。医療支援センターでは、患者の“外から入院、退院後の生活”まで、切れ目のない療養支援を多職種が協働して行い、安全・安心・効率的な医療を提供することを目指しています。患者さんの通院や退院後自宅での生活を続けるために、地域の皆様とともにお手伝いをしたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



病院事務部 地域医療課 課長 梶 浦 由利子

4月1日付で地域医療課へ着任致しました。医療支援センターでは、多職種が協働し、外から入院、退院後の生活が円滑に送れるよう包括的援助を行っておりますが、事務職員としてできることに精一杯尽力し、地域医療の推進に努めてまいります。今後ともより一層のご協力、ご支援賜りますようよろしくお願い致します。

開催報告：第15回 病診・病病連携の会

2019年1月19日（土）午後5時から、宝塚市の宝塚ホテルにおいて、宝塚市医師会と当院の共催で病診・病病連携の会を開催致しました。はじめに、宝塚市医師会の栗田義博会長にご挨拶を頂き、「消化管診療の最近の進歩」をテーマに、当院より4名の医師が講演しました。宝塚市医師会から39名、当院9名を加えた計48名が出席し、連携の会、懇親会ともに盛会のうちに終わることができました。本会の開催にあたり、ご尽力賜りました宝塚市医師会様のご厚情に深謝し、ここにご報告申し上げます。

司会 副院長 消化管内科 主任教授／診療部長 三輪 洋人

講演1 「腸内細菌の話題」	消化管内科 准教授 福井 広一
講演2 「炎症性腸疾患の話題」	炎症性腸疾患内科 准教授 樋田 信幸
講演3 「食道癌、胃癌、大腸癌の薬物療法の進歩」	消化管内科 助教 戸澤 勝之
講演4 「内視鏡治療の最前線」	消化管内科 准教授 大島 忠之

開催報告：第15回・第16回・第17回 阪神沿線健康講座

「阪神沿線健康講座」は、兵庫医科大学病院と阪神電気鉄道(株)が沿線住民の健康増進による沿線活性化を目的として共同開催しており、第15回（2月28日）は脳神経外科の内田和孝助教が「脳卒中にならないコツ」について、第16回（3月7日）は救命救急センターの平田淳一センター長が「本当にその症状、危なくないですか？ ～救命医のホンネ～」について、第17回（3月16日）は小児科の竹島泰弘診療部長が「こどもの急病 その時どうしますか？」について講演を行いました。今後も地域の皆さまの健康増進に資する様々な取組を展開していく予定です。

2019年4月1日付人事異動のお知らせ

下記診療科におきまして、2019年3月31日付で診療部長が退職致しました。つきましては、新たな診療部長を以下のとおりとしましたのでお知らせ致します。

診療科名	役職	氏名
肝・胆・膵外科	診療部長	波多野 悦 朗
整形外科	診療部長	麩 谷 博 之

また、下記中央診療施設及び中央部門におきまして、2019年4月1日付で新たな部長・センター長が着任いたしましたのでお知らせ致します。

診療科名	役職	氏名
ペインクリニック部	部長	高 雄 由美子（※2019年2月1日付着任）
がんセンター	センター長	木 島 貴 志（呼吸器内科 主任教授／診療部長）
手術センター	センター長	多田羅 恒 雄
放射線治療部	部長	富士原 将 之（放射線科 講師）
医療社会福祉部	部長	芳 川 浩 男（脳神経内科 主任教授／診療部長）

兵庫医科大学病院からのお知らせ

救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

0798-45-6812 (救急科医師)

循環器疾患と思ったら

080-2475-7380 (循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

080-2529-8239 (脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com